医療者・医学研究者向け資料

delete C

みんなの力で、がんを治せる病気にするプロジェクト

【第5回】deleteC がん治療研究公募 2023

（2テーマ、総額1000万円以上）

deleteCでは、がんを治せる病気にするため、がん治療研究を推進する医療者・医学研究者に対する寄付及び、啓発活動を行っています。

2022年度は2名の研究者に対し、各500万円、総額1000万円を寄付しました。

また、受賞者の想いや研究内容に関する動画啓発コンテンツを制作し、啓発活動も行いました。
今年度も寄付と啓発を通じて、がん治療研究を応援します。

募集テーマ

がんを治せる病気にすることを目指した、革新的な臨床研究や橋渡し研究（以下「がん治療研究」）を主な対象とします。また、がん治療の未来を変える基礎研究、がん治療研究の進歩につながる人材育成や臨床試験の仕組みに関わるプロジェクトなども対象となります。
既存の枠にとらわれない新しい発想に基づく研究提案をお待ちしています。

応募必須条件

- 医療者または医学研究者であること
- 他の医療者・医学研究者の推薦が1人以上とりつけられていること
- 啓発動画などのコンテンツ作成のための取材にご協力いただけること
- 2024年2月4日開催予定の授賞式にご参加いただけること
- 受賞1年半後に向けて、寄付・啓発対象テーマの進捗・成果と寄付金使途をご報告いただけること
- 研究発表の際にはdeleteCからの支援を謝辞に表記いただけること

募集期間・応募方法

募集期間： 2023年 5月11日(木) 00：00 ～ 2023年 7月 7日(金) 23：59 時間厳守

応募方法： deleteC公募選考の特設ホームページをご確認ください。

https://www.delete-c.com/medical-research

選考スケジュール・選考方法

5月11日(木)～7月7日(金)	7月8日(土)～9月上旬	9月14日(木)～9月16日(土)	10月上旬
募集期間	書類選考	Web選考	寄付・啓発対象者の決定

※6月5日(月)20時～:2023年度公募説明会(zoom)を開催します。
参加希望の方は特設ホームページのご案内をご覧ください。

2024年2月4日(日) 授賞式 deleteC 2024 -HOPE-にて発表

deleteC選考委員会

国立研究開発法人
国立がん研究センター東病院 病院長
大津 敦

公益財団法人がん研究会 有明病院
副院長・乳腺センター長
大野 真司

一般社団法人CSRプロジェクト
代表理事
桜井 なおみ

国立研究開発法人
国立がん研究センター東病院 呼吸器外科長
坪井 正博

慶應義塾大学医学部 教授
臨床研究推進センター
腫瘍センターゲノム医療ユニット
西原 広史

埼玉医科大学国際医療センター
婦人科腫瘍科 客員教授
国際医療福祉大学 産婦人科 特任教授
藤原 恵一

東京大学医科学研究所附属病院
腫瘍・総合内科 教授
東京大学医学部附属病院
腫瘍センター長
朴 成和

参加企業メンバー
deleteC選考メンバー

記載項目および評価のポイント

申請書記載項目:項目に対する記載内容に基づき、選考委員による書類選考・Web面談をおこないます。

- 申請者氏名
- 申請者所属、職位
- 研究テーマ
- 研究の概要(研究の背景、目的、研究デザイン、主な評価項目など 800字以内)
- 研究の臨床的意義、患者さんへの寄与(250字以内)
- 研究の新規性、独創性(250字以内)
- 研究がもたらす3年後や5年後の展望、未来像(250字以内)
- 研究の背景と現在の課題、研究目的(1000字以内)
- 研究計画(研究デザイン、対象疾患、適格性基準、評価方法、評価項目、目標例数、評価期間など)
- 倫理面への配慮(遵守すべき指針等や倫理審査委員会での審議状況)
- 研究を完遂するために必要な資金の総額(準備状況、スポンサーの有無など)
- deleteCからの寄付の資金使途
- deleteCと共に社会に啓発するにあたって情報発信したいこと、その理由
- 研究機関名称
- 研究責任者
- 応募に際した研究責任者の了承の有無
- 本研究における応募者の立場/役割
- 応募者の略歴
- 本研究に関係のある応募者の研究業績
- 推薦者氏名
- 推薦者所属、職位

評価のポイント(下記の4点を中心に、書類選考、Web選考において評価を行います。)

＊「がんを治せる病気にする」ことにつながる論理性、科学的妥当性
＊研究の推進において、応募者とdeleteCが社会に対して共に研究意義を啓発する重要性
＊新規性、独創性
＊実行可能性

(お願い) 書類選考に通過した際には、Web選考を実施します。
応募フォームにおいてWeb選考の希望日時をお伺いしておりますので、ご回答お願いします。

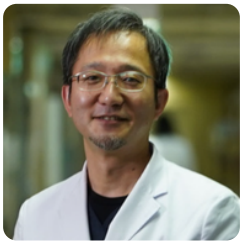
申請書のフォーマットはdeleteCのHPからダウンロードできます→

deleteCの寄付実績

2019年度(2020年2月)以降、4回の授賞式「deleteC -HOPE-」を開催し、計3,000万円以上の寄付と啓発にて医師・研究者を応援しています。

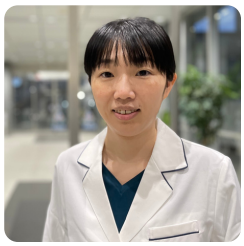
愛知県がんセンター　薬物療法部
医長
谷口浩也
がんゲノム医療難民を減らせ!－かかりつけ病院と協力して行う完全リモート治験の実施－

兵庫県立がんセンター
腫瘍内科部長
松本光史
低再発リスクI期ER/and or PgR陽性乳癌への温存術後残存乳房照射省略を検証する研究（NRG BR-007試験：DEBRA）



近畿大学
医学部　腫瘍内科部門　医学部講師
川上尚人

「MSI-H胃がんに対する1次治療としてのニボルマブ＋イピリムマブ併用療法第II相試験（NO LIMIT試験）」



国立がん研究センター中央病院
小児腫瘍科/臨床研究支援部門
外来研究員
石丸紗恵

「小児がんに対する国際共同試験実施体制の構築～ドラッグ・ラグ解消に向けて～」

慶応義塾大学医学部
先端医科学研究所　特任助教
大槻雄士

「がん特異的代謝機構に基づく新規放射線治療併用増感剤の研究開発」

東京大学医科学研究所附属病院
緩和医療・先端臨床腫瘍科
藤原紀子

「臨床研究への看護師の参画について－研究参加者を守り、研究の質向上のためのリサーチナースの普及・啓発」

埼玉医科大学国際医療センター
婦人科腫瘍科　助教　藪野彰

「早期子宮頸がんに対するセンチネルリンパ節生検併用による侵襲の軽減とQOL改善を目指した標準治療法確立のための国際共同第Ⅲ相試験」

名古屋大学医学部付属病院
ゲノム医療センター病院　講師
奥野友介

「網羅的遺伝子解析による小児がんの治療法成績改善」

※受賞時の所属を記載しています

deleteC法人概要

delete

団体名　：認定NPO法人 deleteC
（2022年9月22日交付・認定番号4生都管第703号）
設　立　：2019年9月5日
代　表　：代表理事 小国 士朗
事業内容：(1)ロゴ等を活用したがん啓発事業
(2)がん啓発イベント事業
(3)がん医学研究に対する寄付・助成事業
(4)がん医学研究に関する事業提供・啓発事業
(5)その他その目的を達成するために必要な事業